

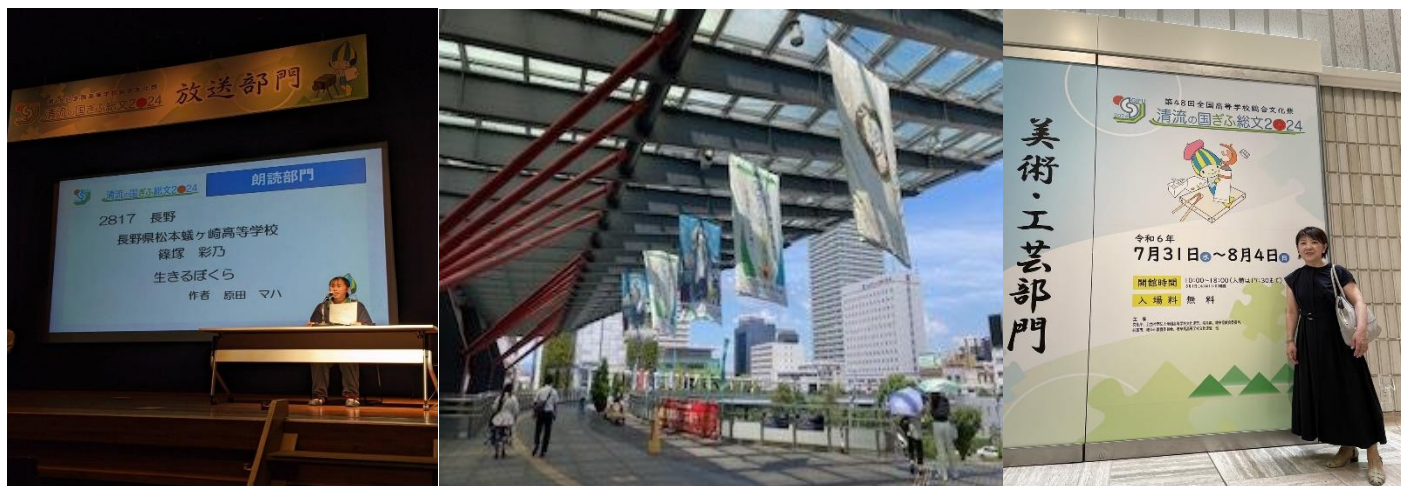
高校生の活躍！100年後の未来を見据えて

「第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎふ総文2024」に参加して

夏休みも中盤、酷暑の中、3年生の補習そして文化系クラブのコンクールや全国大会が目白押しとなっています。7月28日に行われた**全国書道パフォーマンス甲子園**に参加した書道部は**3位を受賞**！毎日の取り組みの成果として立派な姿を披露しました。**7月31日から始まった全国総文祭ぎふ総文**は47都道府県開催の2巡目開催となる幕開けの大会となり、「**集え青き春 漕ぎだせ知の筏 皆も煌めく清流の国へ**」をテーマに経験が積み重なった安定感のある大会となりました。高校生たちの「**青春(あおはる)を精一杯生きよう！**」の精神が各所に見られ、歴史を次世代へ繋ぐ意義も盛り込まれた素晴らしい演奏や発表が繰り広げられました。本校から参加した**放送部、書道部、室内楽部**の皆さんお疲れ様でした！**8月7日は全国高校野球選手権大会の開幕**。開会式での智弁和歌山高校主将 辻選手の選手宣誓が心に残ります。「**僕たちには夢があります。ここ、甲子園で日本一になることです**」暑さ対策等によりドーム球場での開催を提案する世論もある中での宣誓でした。「**100年前、この地に甲子園球場が誕生しそれ以来全国の球児がここでプレーすることを夢見てきました…ちょうど100年たった今、僕たちはここに立っています。僕たちには夢があります。この先の100年もここ甲子園が聖地であり続けることです。努力したとしても報われるとは限らない。しかし努力しなければ報われることはない。このことばに励まされ僕はここに立つことができました。そしてこれからもこの言葉を胸に最後まで戦いぬいていきます。この聖地でプレーできることに感謝を忘れずに…**」高校生にとって1度きりの青春(あおはる)の時。100年後の未来のために思いを馳せる高校生たちの姿に大人の責務も感じた今日この頃です



総合開祭式では最後にこの垂れ幕がありました。感動！ 美術工芸部門、長野県のコーナー。視点が見事！



放送部門では3年篠塚さんを応援に。見事な朗読でした。岐阜駅前には総文祭への来客を歓迎するお出迎え。